八月二十一日　夕刊

但日曜祭日翌日休刊
一ヶ月二十五錢
郵税十五錢一部二錢
廣告料一行四十錢
場所指定　或拾錢增
發行兼編輯印刷人　牛谷政喜
發行所　福島縣平町大町二三
新いわき新聞社

果樹園を全滅し 水田四町歩を 枯死と減收

磐城炭鑛の冷淡な態度に 監督局でも手温い處置

地下採掘から慘害

平町の地下採掘に對して猛烈な反對を叫ばれて居る折柄同採掘出願の磐炭に既掘地上の苦情が起つてゐる目下騒がれてゐる位置は内郷村大字綴字上綴秋山地内果樹園二反五畝歩の龜裂過乾で栽植十年の梨樹二百二十本及び梅二十本の盛期を全滅し經營者渡邊高次郎氏から右の災害に園内の龜裂巾八寸から四五寸に及ぶ最も裂面の長いもので五、六間に達する數ヶ所（裂深數十尺）を具申し去る七月初め仙台鑛山監督局から平町地下採掘問題で調査に出張したる調査官に現地の踏査を請ひて次第を訴へたが磐炭側では同地下の採掘は深度千三百尺を有するもので炭鑛の影響に非ずと唱ひ監督局でも被害側再三の訴へにも未だ何等の處置なき爲め益々不平を昂めてゐるが同地附近には尚ほ此外に字七反田四五番地水田八畝歩を全く枯死させ更に三町歩の水田に灌漑水の不足と坑内排水の鹽毒被害に原因するものとする大減收を與へて左記被害者に苦情を持ち込まれてゐるが炭鑛の冷淡な態度を非難されてゐる

水田被害地主金澤慶一　鈴木覺次郎　長久保明義　齋藤彌一　濱田忠義　沼田明朗　私山義房　沼田喜一郎　秋山喜　鈴木重平　長久保作治　秋山元

糸價の高値から 晩秋蠶の掃立增

石城の豫想は十萬六千グラム 收繭五萬五千貫の見込

石城地方は目下初秋蠶の上簇盛りで五萬八千グラムの掃立蟻量による二万九千貫の收繭は作柄極めてよく夏蠶の收繭約五千貫（掃立蟻量一万四百グラム）の好價に引續いて昨今の糸價八百圓を往來する高騰から一般蚕家は晩秋蚕の掃立に非常な意氣込みで來る二十五六日頃から九月初めに及ぶ飼育蟻量は十万六千グラムを豫想されてゐるが天候の回復と桑葉の順調な發育は五萬五千貫位の豐作疑ひなしと唱ひられ十月下旬からの同收繭出廻りに今後の糸價が多少下値歩調となつて見ても三十掛（四十圓）は下るまいと見込まれてゐるので右の掃立は尚ほ幾分の增加を見るであらうと云はれてゐる

釣錢詐欺犯 本日送檢

舊盆十四日夜平町新川町谷屋吳服店から釣錢八圓五十錢を詐取平署に檢擧された内郷村大字綴居住無職大友一郎（二八）假名はその後平署齋藤司法主任係りで嚴重取調の結果窃盜四件詐欺二件の余罪を自白したので二十一日一件書類と共に送檢した

新版『母歸る』

―子を棄てた放浪の母を つまみ出す棄られた娘―

罪は母か？子か？

各地で執行されてゐる簡閲點呼をめぐり非常時日本、軍國日本を彩る幾多の美談、佳話が次ぎ次ぎに傳へられてゐる折も折…此れはまた餘りにも醜悪な餘りにも痛ましい世相の一斷面をまざ〳〵と見せ付けて居合せた平署の警官連の面をそむかせたどん底日本の姿がある…

◇　◇　◇

二十一日の午前九時前後あはたゞしい跫音を殘して平署の受付口に姿を現はした年の頃五十才前後、小柄などこか侘び淋しい世相に仇めいた昔を偲ばせる樣な老女房？がある、

女給生活をしてゐる娘の身を案じて訪ねて來たところカフエーの主人は娘に會はせず掠りつけたり…叩いたり、戸外に放り出されて來ました、娘に會はして下さい　……

と言ふのがその老女房の願ひ早速娘の抱えられてゐる平町南町カフエー赤玉の主人中山キンと老女房の娘松崎千代（一八）を呼び出して調べて見ると生み親でも自分等兄妹を仔犬か…猫の樣に生み放して不具の父を棄て情夫と駈落した樣な人は母だと思はない、會えば恩より怨み憎みが一層增す會いたくないから主人に頼んで追ひ出しました…」

と云ふのが娘の言ひ分

◇　◇　◇

生みの母戀しさから發狂した娘もある世の中に生みの母憎しと幾年振りかで尋ねて來た母を一目も會はず突き歸す娘の方にも何か事情がありそうだと小林次席が調べて見ると

◇　◇　◇

身長四尺五寸にも充たない倭小な不具男を父とし淫奔無類男から男へ渡り鳥りの樣な生活を續けてゐる女を母として生れたチヨ等三人兄妹は幼い時から眼の前に繰り展げられる情痴淫蕩の極々相の中に育てられ兄は不良兒姉妹は女給生活に入つて父の知れない子供を生んでは荒癈し切つた生活に子供を育る業も知らず自分が母に棄てられた樣に次ぎ次ぎに棄て去つて來た過去仇し男と手に手を取つて放浪幾年男に棄てられて始めて肉身の子等に會ひたくなつた老母が女給してゐる娘の身を案じて來た！と云ふのは肯れるがその口の下から歸るのには汽車賃もないのだと暗に小使錢の催促色男と逃げやがつて棄てられたものだからお前を案じて來たもよく言へた汽車賃なんか飛んでもない…あられもない斷髪娘の口をついて出る野卑な此の言葉の應酬に流石の次席も呆然としてゐるばかり親も親なら子も子此れが今の世相の現きた姿だ？

二愛兒を伴つて 人妻行方を晦ます

現金百圓と貯金通帳を持つて

栃木縣下郡賀郡栃木町字嘉右工門町四八東作妻石川ヒロ（三六）は去十二日五才と二才になる二兒を連れ出して現金百圓の外貯金通帳實印等を持つて家出逃走行方を晦ましたので捜査中炭礦方面に居る知人を尋ねて平町地方に入り込んだ形跡があるので二十一日平署に出頭妻子三名の捜査方を願ひ出た、家出の原因等は不明だが誘拐されたのではないかと見られる

石城郡三築港の擴張工事を視察

内務省藏重技師と武若事務官 小名濱、江名、四倉港調査

石城郡小名濱商港と江名漁港の擴張と四倉漁港の繼續擴張小林平土木監督所長の案内で四倉港を視察したる後小名濱に着泊明廿二日は小名濱と江名の兩港灣視察を遂げて歸京の筈であるが三港工事は實現するものと見られてゐる

各施行工事は東北振興會に於てもこれを是認され地元に熱心な運動中であるが右に對し今二十一日午後内務省藏重技師及び武若事務官が出張中の仙台市から來郡縣土木課から阿部主事並に木村港灣技師出

一票汚れて國汚る（三）

松井博士述

中央報德會

余は此の點に於て中央及び地方官憲の誠意を諒とする者の一人であるが併し上意下達は昔から決して容易のことではないから此上ながら中央及び地方の官憲に於ては特に此の點に向つて注意したいものである、

選擧の取締上最も肇の的となつてゐる點は官憲が投票數を調べることである、政府は此の事なきことを明言してゐるが余は吳々もこれが實行上に就て萬遺算なきことを希望してやまない、從來兎角の評のあつた高等警察に就ては政府は此度英斷を以て中央及地方を通じて高等課廢止を斷行し傳統的の誤解を防ぐべく鋭意これ努めたことは獨り選擧肅正の爲のみならず一般警察界の刷新の爲にも余の衷心より歡迎して已まざる所である

前に一言した如く從來選擧に關しては種々の施設を逆用することが豫想外に多いから殊に選擧肅正に關する地方懇談會の如き最も此の點に對する注意の周到なる事を要する萬が一にも部落會の如きものが選擧母体となる樣なことゝなつては教化の振興上より云ふも實に容易ならざることであるから豫め此等の點に對しては充分なる注意を拂はれたいものである、

更に又教化の方面に屬する學務系統と檢察の方面に屬する警察系統とは平素に於て互に相了解して握手するに非ざれば到底實効的効果を奏し得るものではない、余は平素教化方面の會合に對し熱心に警察官の會同を促がし、教化事業家をして社會の實狀に通ぜしめんことを希望すると同時に又教化方面よりして警察官の反省を促し兩々相俟つて教化を空論に陷らしめず充分の効果を擧げたいと思つてゐるのであるが殊に選擧問題に對しては一層其の感を深くするものである

◇……◇

井戸澤釣橋折れ

トラック河中に轉落

運轉手慘死助手は重傷 積載木材は制限内重量

昨二十日午後四時頃田人村大字黑田線川運輸部運轉手伊達郡長岡村生れ淺野勝吉（三五）は小量の木材を積んだトラックを運轉同村道に架してある郡内隨一の井戸澤橋上中央に差かゝつた際突如トラックの重量に堪えかねた橋桁は物凄い一大音響と共に眞二つに折損トラックはもんどり打つて約七丈餘の鮫川河中に墜落自動車は大破塔乘の運轉手淺野は全身打撲、助手同村黑田蛭田義一（二八）は頭部胸部打撲各れも瀕死の重傷を負ひ直ちに植田町前田醫院に舁ぎ込み應急加療中であるが淺野は遂に今二十一日午前　時絶命した尚同橋は鮫川上流地方に於ける木材搬出上最重要の橋梁で腐朽してゐるので地方民からは屢々改修を要望されてゐたものので殊に昨年十月木材搬出のトラックが同樣墜落運轉手が慘死した事件後は縣當局も同橋の危險を認め三百貫以上の積載重量トラックの通行を禁じてゐたが今回の墜落したトラックは制限内の約百貫足らずしか積載して居らず運轉手側の責任でない事が明になつてゐるだけに縣がどんな態度に出るか注目されてゐる

玉川講堂落成

玉川村では小學校講堂並に奉安庫が見事に竣成二十三日盛大な祝賀式を擧行する

鄕土史抄

故濟先生の遺影を偲ぶ　十三

（瀧川家の史料採訪）

飯川漁史

松井氏の節死後に於ける桑原以下が同士の胸中は果して如何、縱し彼等は兵馬の義烈に肯ざるところありとはいへ藩主北行後の舘池を衛り、專ら師順を固持して木梨、渡邊參謀の率ゆる官軍に投じ、其の誤れるに替はらんと奔走した。此の時に於いてか、瀧川濟は輪王寺宮に參仕して會津より歸藩の翌日、木梨氏等の官軍が平潟に至つたので、其の席温まる暇なく、參謀に祇候して、自藩の討擊を免るされんことをひたすらそうたが其の主戰派と同盟乃至舊幕兵等の强要に于つて目的は遮られ、遺憾ながら遂せられなかつた。先生が早くも第二の追討官軍に伺候し之に勤王を表明した一證は、次の詩歌を渡邊參謀から贈與されたので察せられよう、

兵船簇々義江灣、軍備全成意自閑、夜地案經眠亦熟、夢魂先到奥州山、

奉與羽追討之命、發東京宿品港、濟（瀧川家藏軸）

瀧川君勿越關にひらひ得られたる古櫻木の化石に矢の根となりたるを見て

ちる花とゝもに消行天とりの、名こそ千歳にのこる關なれ、濟（同家藏短尺）

尙ほ濟と世良、木梨、渡邊參謀等の關係は、其の日記に明詳で彼れが夙に勤王の實効者であつたのは、現存舊泉藩士族中、松井氏に次ぐ人物であると評してよからう。

二十二日、官軍は破竹の勢ひで北進し、賊と添野に戰つて擊退し、二十四日、植田の八幡山に殘抗する者を討ち、二十八日、官軍は遂に背後より泉舘を攻落し、新田坂の炮舌を拔き、其の夜、參謀等は軍と共に郭外の民家に駐泊した。因つて桑原、瀧川等は舘に止まつて二參謀に謝罪嘆願書を提出し、極力哀訴し、自藩の歸復に盡瘁した結果、其の認むるところとなり、暫く其の爲の謹愼を命じられたのである。

牛も豚も優良品の自慢
肉の御用命は　三三屋　平町田町

清爽簡易なサンマードレス
……婦人用こお子さん用……
特價品豐富陳列
ルツヤ
平四一四〇番

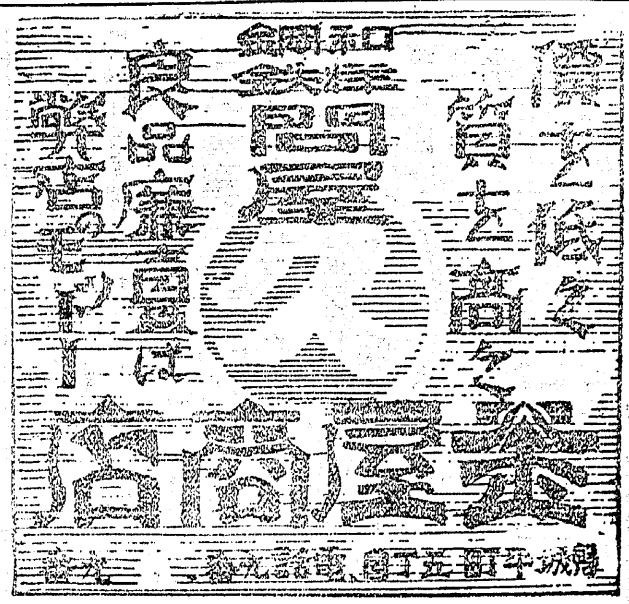
入院應需
内科、小兒科
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番

洋服は高島屋
注文並に既製品
秋物▽入荷▽澤山▽
平町二丁目　電話三八六
高島屋洋服店

石炭
コークス
豆炭
平町郵便局通り
水野石炭店
電話二九九番

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關内正一
平町二丁目　電話一六番
事務取扱者　阿部助次郎

産婦人科院長　木村寅次郎
外科　醫學博士　内木宗八
藥局　藥劑師　玄蕃彌一
平町新川町九一
入院隨意　病室完備
木村病院
電話一六四番



好評嘖々
たる各種優秀藥
强力流經劑（定價二圓、三圓、五圓、十圓）
治淋新劑トリックス（定價　二圓、三圓、五圓）
動脈硬化症特効藥
（藥防豫風中）
Aアイヨー錠（定價二圓、六圓、二十圓）
Bトーゲン（定價二圓、三圓、五圓、十圓）
特約店（平町五丁目通り）山野邊藥局

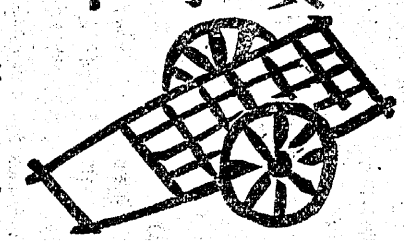
入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前　電六六九番
◎自炊の便あり

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町
高久病院
電話五一三番
院長　醫學士　高久志

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、齒科技工科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野惠次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

平町紺屋町
藤沼醫院
電五〇七番

貸手車
平町大町若松醫院隣
牛谷



看護婦の求めます
復員軍人看護婦會
電三〇七

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆樣の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
平町南町　電三〇七
平看護婦會
會長　清野キヨ

經濟的な御便宜ご用命をお願致升
御手不足の御家庭輕い御病人の付添姙婦産婦の御家庭

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社
印刷部